

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報の発令について（送付）
このことについて、平成15年度病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

注 意 報

平成15年度病害虫発生予察注意報第3号

平成15年7月23日

熊本県病害虫防除所長

農作物名 トマト、ミニトマト

病害虫名 トマト黄化葉巻病
（病原ウイルス Tomato yellow leaf curl virus: TYLCV）
（媒介昆虫 シルバーリーフコナジラミ）

1 予報内容

- （1） 対象地域 県内全域（トマト、ミニトマト栽培地域）
- （2） 発生時期 トマト及びミニトマト全栽培期間（育苗期から栽培終了まで）
- （3） 発生程度 多

2 注意報発令の根拠

- （1） 現在、育苗中の苗や本圃での発病が例年より多く見られる。また、これまで発生の無かった地域でも発生し、発生地域が拡大している。
- （2） 栽培地域の雑草地調査においてシルバーリーフコナジラミの寄生が多く確認され（表1）、その中にはウイルスの保毒虫も存在していた（表2）。
- （3） 家庭菜園などのトマトやミニトマトでも発病株が多く見られ、これが伝染源やシルバーリーフコナジラミの増殖場所となる恐れがある。
- （4） 平成14年8月から12月頃に平坦地域のトマト及びミニトマトで多発生し、平成15年春以降も発病圃場が見られた。また、ウイルスを媒介するシルバーリーフコナジラミの発生が平年よりやや多い発生となったため注意報（平成15年3月27日）を発表しているが、引き続き防除対策の徹底を図る必要がある。

3 防除上注意すべき事項

育苗期・本圃栽培期の対策

（1）防虫ネットの設置：

育苗施設やハウス等の開口部（サイド、換気部など）には必ず防虫ネット（1mm目以下）を設置し、シルバーリーフコナジラミの侵入を抑制する。特に、育苗時に感染すると全滅する恐れがあるため被覆を徹底する。なお、完全に侵入を阻止するには0.4mm目以下が必要である。

・抑制裁培（8月～9月中旬定植）はオールネット被覆をする。

・促成栽培（9月中旬以降定植）はビニール被覆し、谷部やサイド部へ防虫ネットを設置する。（注：防虫ネットを被覆しない圃場は、作型を遅くする。）

（2）感染・増殖源の除去：

施設周辺及び内部の雑草や放棄したトマトの余り苗やトマト果実からの実生株は、ウイルスの伝染源、シルバーリーフコナジラミの生息・増殖場所となるので、必ず播種や定植の7～10日前までに除去し、育苗期から栽培期間中は定期的に除草する。

シルバーリーフコナジラミは、ナス、ウリ類、イチゴなどトマト以外の作物にも寄生し、

増殖するため、これらの作物についても防除対策を講じる。

地域ぐるみでシルバーリーフコナジラミの増殖しやすい場所（河川敷、道路脇、遊休地など）を一斉除草する。

(3) 黄色粘着トラップを施設内に設置し、コナジラミの侵入に注意する。

(4) 薬剤防除：

防虫ネットのみでは、シルバーリーフコナジラミの侵入を完全には防げないため、薬剤防除を併せて徹底する。また、育苗期後半には粒剤を株元処理し、定植時には粒剤を施用する。

(注意：農薬使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を確認する。)

(5) 伝染源の除去：

発病株は二次伝染源となるので、見つけしだい直ちに抜き取り施設外に持ち出し埋没処分するか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。

(6) 地域全体で上記の防除を徹底する。

(7) 本病の未発生地域においても、トマト栽培があれば発生する可能性が高いので十分に注意する。

表1 雑草におけるシルバーリーフコナジラミ生息状況調査

調査地点	雑草の種類	調査月日	6月26日	7月9日	7月16日
熊本市沖新町 (農道脇)	セイタカアワダチソウ	調査株数	25	25	25
		寄生成虫数	2	0	0
	アキノノゲシ	調査株数	23	23	23
		寄生成虫数	1	1	1
	クズ	調査複葉数	25	25	6
		寄生成虫数	2	0	0
熊本市海路口町1 (河川堤防のり面)	セイタカアワダチソウ	調査株数	20	50	50
		寄生成虫数	6	21	2
	アキノノゲシ	調査株数	10	10	10
		寄生成虫数	11	18	4
	クズ	調査複葉数	20	30	30
		寄生成虫数	14	4	3
八代市場町 (農道脇)	セイタカアワダチソウ	調査株数	50	7/10に除草	
		寄生成虫数	11		
	アキノノゲシ	調査株数	10		
		寄生成虫数	5		
松橋町西下郷 (農道脇)	セイタカアワダチソウ	調査株数		50	
		寄生成虫数		21	
	アキノノゲシ	調査株数		25	
		寄生成虫数		17	
小川町南新田 (河川堤防のり面)	セイタカアワダチソウ	調査株数		50	
		寄生成虫数		28	
	アキノノゲシ	調査株数		25	
		寄生成虫数		10	

表2 シルバーリーフコナジラミの保毒状況調査

採取場所		検体数	保毒数	保毒率(%)	備考
熊本市沖新町	雑草	16	3	18.8	1検体当たりシルバーリーフコナジラミを1頭
熊本市海路口町1	雑草	11	3	27.3	
熊本市海路口町2	罹病ミニトマト	15	1	6.7	
	罹病ミニトマト	2	2	100.0	1検体当たりシルバーリーフコナジラミを5頭
松橋町西下郷	雑草	4	0	0.0	
小川町南新田	雑草	14	0	0.0	1検体当たりシルバーリーフコナジラミを1頭

注：採取したシルバーリーフコナジラミをPCR法により検定した。